

2025/2026 シーズン
日韓国交正常化 60 周年記念公演
焼肉ドラゴン 凱旋公演

**12 月、新国立劇場 中劇場への凱旋が決定！
ツアーファイナルは作品史上初となる中劇場！**

2025 年、**日韓国交正常化 60 周年**を迎えることを記念し、**鄭 義信**が日本の戦後史の影を描いた、日韓合同公演『焼肉ドラゴン』を上演いたします。

本作は、2008 年に新国立劇場が芸術の殿堂（ソウル・アーツ・センター）とのコラボレーション企画として、鄭 義信に書き下ろしを依頼し制作されました。2002 年、2005 年上演の『その河をこえて、五月』（平田オリザ・金 明和 作／李 炳燾・平田オリザ 演出）に続く、同劇場との 2 度目のコラボレーション企画となります。

1970 年前後、高度経済成長と大阪万博に沸く関西の地方都市。そこで慎ましくも懸命に生きる在日コリアン一家と、彼らが営む焼肉店「焼肉ドラゴン」に集う人々の人間模様を、生き生きと描き出した本作。2008 年の初演では、開幕直後から口コミで大きな評判を呼び、東京・ソウル公演では連日スタンディングオベーションを巻き起こすなど、観客から熱狂的な支持を受けました。その年の日韓両国で数々の演劇賞を受賞し、2018 年には鄭 義信自身がメガホンを取り映画化もされました。

日韓の過去、現在、そして未来を、音楽を交えながら、おかしく哀しく切なく描くこの物語は、2008 年、2011 年、2016 年に続き、2025 年に 4 度目の上演を果たします。

この度、2025 年のツアーファイナルとして **12 月 19 日(金)～21 日(日)に新国立劇場 中劇場での上演が決定**しました！10 月に新国立劇場 小劇場で幕を開けた後、11 月には芸術の殿堂での韓国公演、そして福岡、富山での全国公演を経て、12 月、満を持して新国立劇場へ凱旋します。この凱旋公演会場は、なんと中劇場！初演から 17 年を経て、新たな歴史を刻みます。

2025 年の締めくくりに、日韓両国の言葉がエネルギーに飛び交う、あの焼肉店へ、愛しい家族と仲間たちにぜひ会いにきてください。

作・演出の鄭義信のコメントとともに、ぜひ本情報のお取り上げのご検討の程、何卒宜しくお願い致します。



<作・演出 鄭 義信コメント>

正直な話、中劇場は苦手である。茫洋と広がった空間が、いつも僕をとまどわせる。しかしながら、「焼肉ドラゴン」2025 年版は新国立劇場小劇場からはじまって、ソウル、北九州、富山公演を経て、中劇場で締めくくりとなる。この長い旅を経て、あの家族たちが中劇場にどんな姿で降りたのか……僕自身も大いにはらはらどきどきしている。そして、大いに楽しみでもある。

これまで小劇場で、「焼肉ドラゴン」をご覧になった（もしくはこれからご覧になる）皆さま、一度もご覧になったことのない皆さまに、お願いです。どうぞ中劇場に足をお運びください。今回の中劇場公演をもって、「焼肉ドラゴン」はラストステージとなります。

どうぞあの家族たちの行く末を見届け、温かい拍手で送ってくださることを願ってやみません。

公演概要



【公演タイトル】日韓国交正常化 60 周年記念公演『焼肉ドラゴン』凱旋公演

【公演日程】2025 年 12 月 19 日(金)～21 日(日)

【会場】新国立劇場 中劇場

【作・演出】鄭 義信

【出演】千葉哲也、村川絵梨、智順、櫻井章喜、朴 勝哲、崔 在哲、石原由宇、北野秀気、松永玲子

イ・ヨンソク、コスヒ、パク・スヨン、キム・ムンシク、チョン・スヨン

【芸術監督】小川絵梨子 【主催】新国立劇場

【一般発売日】2025 年 10 月 12 日(日)10:00～

【チケット料金】S席 8,800円／A席 6,600円／B席3,300円／Z席(当日)1,650円

12月中劇場2作品通し券も販売！

『焼肉ドラゴン』凱旋公演、『スリー・キングダムス』の2公演同時購入がお得！

新国立劇場ボックスオフィス(電話と窓口のみ)での受付となります(Webボックスオフィスでの販売はございません)。
日程の組み合わせは自由です。2作品それぞれご希望のお日にちをお選びの上、お申し込みください。

2 作品通し券(S 席のみ): 15,800 円 ※定価より 1,800 円お得！

【公式ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/play/yakinikudragon/> ※8/19(火)12:00 に更新されます

ものがたり

万国博覧会が催された 1970(昭和 45)年、関西地方都市。高度経済成長に浮かれる時代の片隅で、焼肉屋「焼肉ドラゴン」の赤提灯が今夜も灯る。

店主・金 龍吉は、太平洋戦争で左腕を失ったが、それを苦にするふうでもなく淡々と生きている。

家族は、先妻との間にもうけた二人の娘・静花と梨花、後妻・英順とその連れ子・美花、そして、英順との間に授かった一人息子の時生.....ちよっとちぐはぐな家族と、滑稽な客たちで、今夜も「焼肉ドラゴン」は賑々しい。ささいなことで泣いたり、いがみあったり、笑いあったり.....。

そんな中、「焼肉ドラゴン」にも、しだいに時代の波が押し寄せてくる。

＜本件に関するお問い合わせ＞

制作部演劇 広報担当: 杉田 TEL: 03-5352-5738 Mail: sugita_a8863@nntt.jac.go.jp